

『真光寺川 里親の会』通信

3月号 一通算第132号

2012年3月11日

緑濃き北部丘陵の里山「奈良ばい谷戸」を散策！

2 月例会は函師・小野路歴史環境保全地域や付近の奈良ばい谷戸など緑濃き北部丘陵の里山を散策する企画だということで、嬉々として参加した。参加者13人。さすがの寒気も「紀元節」を迎えるころになると、やや寒さも和らぎいい天気である。車に便乗させてもらい、小山田緑地の駐車場から散策開始。残念ながら時間の関係で、今回は奈良ばい谷戸周辺のみ探訪となった。

この谷戸の整備は目を見張るものがある。のどかな田園風景が広がり、素晴らしい懐かしさを覚える田舎の原風景だ。この谷戸で岩上さんと桜井さんの説明を受け、驚いたと同時に非常に感銘を受けた。放置され、原野に近くなっていた田畑を実に7年の歳月をかけて以前の状態に復元したという。淡々と語る背景には多くの人の汗と労力が凝縮された過去が、存在していることがよく理解できた。再開発の前の状態を写真で見せてもらったのでよく状況が把握できた。



よみがえった田園風景。説明をきく

時折、聞きなれない言葉が混じる、手入れしていないこの場所はミンチですと。なんとミンチは民地で、つまり所有者がいる場所らしい。

奈良ばいという名も面白い。新田義貞の鎌倉攻めの際に、ここで軍列を整えるため“並べ”と号令をかけたのが由来でこの辺がナラバイになったという。子守唄のララバイなら聞いたことがあったがナラバイとは何となくユーモラスで面白い地名だ。語呂もいいが当て字はいただけない。谷戸という言葉も町田にきて初めて聞いた。関東特に多摩の丘陵地帯が万年単位の歳月を重ねて侵食し谷あいになったのだという。東北では谷治というとか。そういえば東北出身の知人に谷治という男がいた。西日本では聞かない言葉である。

池めいた貯水池にメダカを繁殖させているという。これは楽しみ、もう一度今度春にでも行ってみたい。ホトケドジョウはかなりにいるという。この環境だと蛙はもちろん。沢蟹も見れるかもしれない。

少し上に登ると丹沢連峰の偉容が富士を背景にして現れ、思わず歓声が出た。大糸線から見る北アの白馬連峰に酷似している。実に素晴らしい絶景である。塔ヶ岳、丹沢山、蛭ヶ岳の1600mクラスの白き山々が一望に現れいつまでみても飽きない。町田にこんなところがあるとは実にうれしい発見である。



遠く富士山や丹沢連峰を望む。歓声あがる

山道はよく整備されている。これにも多くの方々の善意が形になっている証だ。この辺は鎌倉街道の関係でかつての主要な道であったのだろう。新田義貞が軍を進め、小山田一族が活躍し、北条氏が砦を築き、近藤勇が歩き、まさに日本史の、一局面の舞台でもある。面白いのは小野小町が眼病を患い、ここの泉で目を癒した小町井戸という泉がある。武蔵何とかという本に記録があるとか。真偽はともかく伝説は大事な伝承であり、このようないわれがあるのも古道の古道たる由縁である。

城跡がこの辺は多い。城の概念は我々は天守閣を持つ戦国時代以降の城を連想するが、町田の城は山城だとおもえばいい。山を砦にした城であろう。砦と城は当時はそう違いはない。それだけに町田の城は歴史が古くしかも多い。

今日はいい歴史散歩でもあった。いい企画と奈良ばい谷戸の説明で充実感に満たされた半日であった。世話人各位に感謝！

(文：五條 吉和)

●みどりの森保育園園児と交流してきました

1 月26日(木)「みどりの森保育園」年長組園児に自然の物を親しんでもらおうと、交流をもちました。

以前はどこにでもあったじゅず玉を使った、ブレスレット、お手玉です。針を使ったことのない園児の安全を考え、友達も含め5名で参加、園児は風邪でお休みの子もあり、10名でした。職場体験の中学生も手伝ってくれ、園児は皆上手に針を使い、怪我もなくブレスレット、お手玉を沢山作っていました。

園児は自分の作った後、いつも忙しいお母さんにもと一生懸命に集中して作っており、園児のやさしさにふれました。出来上がった後みんなでお手玉の練習をし、園児の上達の速さにびっくり、家に帰っておかあさん、おばあちゃんと話が盛り上がってくれとうれしいです。



真光寺川の散歩することも多い園児に川への関心が少しでも持ってくれればよいなと思います。(文：中村 順子)

「川の風景」最近真光寺川にたびたび白濁水が流れ透明度がさがっています。

1月21日～25日、2月も23日～25日ごろ、真光寺川に灰黄色に濁った水が数日間流れ続け、透明度も20～30センチ(通常は90センチ)まで極端に落ちる日が続いています。散歩する方々から「最近真光寺川が汚れていますね」との声を聞き、残念でなりません。時々町田市の環境保全課に心あたりをお知らせして調査お願いしています。どこかの事業者が排水したものだと思いますが、現行犯を突き止められずにいます。もしお気づきのことがありましたら是非事務局までお知らせください。

写真は2月25日の下堰橋の下流付近の白濁水の様子です。



{メダカポスト}

「めだかポスト」への寄付のほか一木会と見つめ会、2月例会の散策参加者からの寄付を合算して、2月は合計1,125円でした。里親の会の活動に対して皆様のご厚志に感謝いたします。

ご厚志を頂くに当って、ご負担をかけない様に「印字済払込取扱票」をポスト脇のファイルに入れてあります。「赤インク印字の払込取扱票」をご利用頂ければ、手数料無料でお振込みが出来ます。またなるべくATMでの振込みをご利用ください。どうかよろしくお願いたします。

郵便振替 『00150-4-574114』
加入者名 『真光寺川里親の会』

私たちの行動基準

1. 私たちの活動は、地元や地域の人たちに支持されているか。
2. 私たちの活動は、自然に対して謙虚であるか。
3. 私たちの活動は、誰にも解るように説明されているか。

4月の清掃日は8日(第2日曜日)です。一緒に川をきれいにしませんか

川の中や川の周辺のゴミを拾います。一般の方々のご参加、大歓迎です。

- ☆ スケジュール 9:30 下堰親水場 集合
- 09:30 開戸親水場～神明橋間の清掃作業
 - 11:30 休憩と打ち合わせ(「いちよう会館」)
 - 12:30 解散予定

『<http://www.shinkojigawa.com/>』 ホームページへご意見感想をお寄せ下さい

『真光寺川 里親の会』会長：山口 拓郎 町田市鶴川1-10-13 TEL/Fax 042-735-0382

事務局：町田市広袴3-24-11 山本隆治 TEL/Fax 042-736-0214 e-mail ryuji.yamamoto@beach.ocn.ne.jp